シリーズ多面的機能支払　熊野・御浜・紀宝

～私たちの思い、そして伝える100年先へ～

Vol.15　鮒田農地環境活動会（紀宝町鮒田地区）の軌跡

ふなたのうちかんきょうかつどうかい

―美しい里山を守り、次の世代へとつないでいく―

多面的機能支払交付金を活用し、故郷の暮らしを守る活動組織の多様な取り組みは、100年先の地域での暮らしへとつなげるための足跡となっている。

本誌では、活動組織の地域に対する思い、今後の展望についてインタビューし、シリーズ企画として皆様にお伝えしている。

今回は、地域住民の方と意識を共有しながら活動している「鮒田農地環境活動会」を紹介する。

紀宝町鮒田地区は、一級河川熊野川と相野谷川が交わる場所に位置している。熊野川をはさんですぐ先は和歌山県であり、県境に位置している。相野谷川沿いに広がる紀宝町の農村風景は、この鮒田地区が始まりだ。

この日は、冬の冷たい風が体中の体温を奪っていくような日であったが、防災活動の予行練習をしているみなさんのにぎやかな声が私たちを暖かく迎えてくれた。「焼きたてをどうぞ」と私たちの前に、手作り窯で作ったピザが運ばれてきた。

今回は、鮒田地区で活動している鮒田農地環境活動会　代表の東口さんにお話を伺った。

【予行練習で完成したピザ】

――なぜピザ作りをされているのですか。

東口―このピザ作りは、地区で行う次の防災訓練において参加者みんなで作るため、その予行練習をしています。

この地区では、平成23年紀伊半島大水害（以下、平成23年災という。）の際に多くの被害に見舞われました。この出来事があったことで、地域住民の防災に対する意識が高まり、毎月防災訓練を実施しています。

そして、防災活動にできる限り地域住民全員に参加してもらいたいので、防災拠点での料理作り等のイベントも盛り込んでいます。

――組織について教えてください。

東口―令和4年度から活動を開始し、今年で3年目です。構成員は約20人おり、農家に限らず、非農家の地域住民も一緒になって活動しています。

鮒田の農地を守るのは

“防災”がキーワード

活動内容は、草刈り、水路掃除に加えて、景観形成活動、広報活動に力を入れて取り組んでいます。

――景観形成活動は何をされているのですか。

東口―休耕田にコスモスを植栽しており、左の写真のように毎年綺麗に咲きます。この場所は、避難経路にもなっているので、多面の共同活動を通じて防災意識を高めるなど、防災活動にもつながっています。

また、コスモスが満開となる時期には、防災訓練とコスモスをかけあわせた行事を行っています。コスモスの鑑賞に加え、炊き出し訓練等の行事を行うことで、共同活動に参加していない住民にも避難経路を覚えてもらうことができます。

――防災訓練は、地区のほとんどの方が参加されているのですか。

東口―はじめは少なかったですが、現在は30人ほど参加してくれています。訓練内容は毎回異なり、色々な人が興味を持ってもらえるように工夫しています。

避難経路を散歩する訓練の際は、散歩しながら水がどこから出ているか等を確認し、鮒田マップに印をつけたりしています。

また、避難経路の途中には石垣があり、石垣の隙間から生えている草をみんなで綺麗にします。参加者は草の根っこまで抜き、驚くほど綺麗になったため、参加者のやる気に驚かされました。

多面の活動に防災の意識を加えることで避難経路の維持管理にもつながります。

【景観形成活動の様子】

――田んぼにおける多面的機能を上手く活用していますね。

東口―田んぼには多面的機能があり、雨水を一時的に貯め、洪水を防いだり、土の流出を防ぐという「防災」に関わる多面的機能を有しています。

多面の活動を通して、鮒田の農地を守ることは、地区の防災にもつながることを多くの住民に知ってもらい、農業者以外の人々もともに多面の活動を続けていきたいです。

また、活動に参加してもらう住民が作業に参加しやすいように、教える体制作りも必要です。作業が1人前になるまで、自分たちの活動姿を見せながら教え、参加者が安心して活動できるようにしています。

――今後について、思いを教えてください。

東口―これからも多面の活動に加え、防災訓練を継続して行い、住民の防災意識が高い状態を維持していきたいです。

また、自分が見本となり、様々なことに取り組むことで、活動に参加したことがない方を育てていければと思います。地区内外問わず、みんなで支え合っていくことが必要です。

■取材を終えて

平成23年災を機に防災活動の大切さを実感し、そこから防災訓練により地域全体の防災意識を高め続けている。

地区全体で意識を共有していることで、地区全体がまとまり、活動も継続して行うことができており、また、独自のホームページにより地区外にも防災意識を共有することができるという良い影響があると感じた。

これからも鮒田地区のみならず、熊野管内、三重県、全国へと防災意識を持つ大切さを伝え続けてほしい。

（鮒田農地環境活動会HP）

【予行練習の様子】

組織名	組織設立年	活動面積	活動メニュー
鮒田農地環境活動会	令和4年	約19.9ha(田) 約0.9ha(畑)	農地維持支払 資源向上支払(共同)

取材：三重県熊野農林事務所　山口、西﨑　紀宝町役場　清水（令和7年1月）
問い合わせ先：熊野農林事務所　農村基盤室 農村計画課（0597-89-6128）